



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 オリエンタルチエン工業株式会社
 コード番号 6380 URL <http://www.ocm.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 西村 武
 (氏名) 金谷 武志

TEL 076-276-1155

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,484	△4.2	88	△25.9	93	△16.1	70	△12.4
28年3月期第3四半期	2,592	2.3	119	37.4	111	28.2	80	6.6

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円銭	円銭	円銭	円銭
29年3月期第3四半期	4.85	—	—	—
28年3月期第3四半期	5.53	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第3四半期	3,460	1,293	1,293	37.4	88.49	
28年3月期	3,509	1,183	1,183	33.7	80.96	

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 1,293百万円 28年3月期 1,183百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,260	△5.7	106	△23.2	104	△18.1	68	△40.3	4.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	14,672,333 株	28年3月期	14,672,333 株
29年3月期3Q	51,649 株	28年3月期	51,249 株
29年3月期3Q	14,621,044 株	28年3月期3Q	14,622,982 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資が伸び悩み、急激な為替の変動や、中国をはじめとする新興国や資源国等の景気停滞の影響を受け、景気回復は不透明な状況で推移しました。また、英国の欧州連合離脱問題や米国新政権の政策の不確実性等を受け、先行きは依然として不透明な状況が見込まれます。

このような状況下において当社は、市場の多様なニーズへの対応力を高め、受注拡大に向けての製品の差別化や、工場の生産性を高める取り組みを継続してまいりましたが、受注が低迷しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は2,484百万円（前年同四半期比4.2%減）となり、営業利益88百万円（前年同四半期比25.9%減）、経常利益93百万円（前年同四半期比16.1%減）、四半期純利益70百万円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①チェーン事業

国内では、工作機械業界や食品機械業界向けが好調に推移しましたが、運搬機械業界や土木機械業界向けが減少しました。一方、輸出においては、北米・南米向けや西アジア向けが減少しました。これらの結果、売上高は2,247百万円（前年同四半期比4.4%減）、営業利益は170百万円（前年同四半期比15.4%減）となりました。

②金属射出成形事業

医療機器分野を中心に受注拡大に努めました。その結果、売上高は212百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は37百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。

③その他事業

その他事業の売上高は24百万円（前年同四半期比19.3%減）、営業利益は17百万円（前年同四半期比22.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は3,460百万円で前事業年度末に比べて49百万円減少しました。これは、前事業年度末と比べ、現金及び預金が10百万円増加し、売掛金が24百万円、たな卸資産が28百万円減少したことを主要因として、流動資産が2,324百万円と57百万円減少したこと、また、有形固定資産が33百万円減少し、投資有価証券が42百万円増加したこと等により、固定資産が1,136百万円と8百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は2,166百万円で、前事業年度末と比べ159百万円減少しました。これは、前事業年度末に比べ、未払法人税等が17百万円増加し、支払手形が16百万円、買掛金が15百万円、賞与引当金が27百万円減少したことを主要因として、流動負債が1,401百万円と44百万円減少したこと、また、長期借入金が64百万円、社債が30百万円、長期預り保証金（固定負債その他）が20百万円減少したこと等により、固定負債が764百万円と115百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は1,293百万円で、前事業年度末と比べ110百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益70百万円の計上とその他有価証券評価差額金の増加39百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は37.4%になりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年11月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	424,483	434,834
受取手形	691,867	681,193
売掛金	481,923	457,020
有価証券	5,470	5,470
商品及び製品	192,024	191,800
仕掛品	325,593	309,820
原材料及び貯蔵品	236,698	224,467
その他	23,812	19,620
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	2,381,773	2,324,128
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	182,424	173,347
機械及び装置（純額）	381,108	354,813
土地	242,887	246,442
建設仮勘定	44,818	41,495
その他（純額）	20,337	21,763
有形固定資産合計	871,576	837,861
無形固定資産	21,313	16,009
投資その他の資産		
投資有価証券	114,734	157,336
その他	120,732	125,622
貸倒引当金	△784	△784
投資その他の資産合計	234,682	282,174
固定資産合計	1,127,571	1,136,046
資産合計	3,509,345	3,460,174

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	458,440	442,189
買掛金	151,633	136,249
短期借入金	606,297	614,568
未払法人税等	5,969	23,291
賞与引当金	36,475	9,366
その他	187,227	176,244
流動負債合計	1,446,042	1,401,909
固定負債		
社債	65,000	34,400
長期借入金	466,492	402,234
退職給付引当金	282,347	283,261
役員退職慰労引当金	38,620	38,620
その他	27,088	5,942
固定負債合計	879,549	764,459
負債合計	2,325,592	2,166,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,066,950	1,066,950
資本剰余金	168,230	168,230
利益剰余金	△42,849	28,054
自己株式	△5,441	△5,481
株主資本合計	1,186,889	1,257,753
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,137	36,053
繰延ヘッジ損益	0	△1
評価・換算差額等合計	△3,136	36,051
純資産合計	1,183,752	1,293,805
負債純資産合計	3,509,345	3,460,174

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	2,592,590	2,484,090
売上原価	2,097,989	2,035,288
売上総利益	494,600	448,802
販売費及び一般管理費	375,101	360,244
営業利益	119,499	88,557
営業外収益		
受取利息	104	92
受取配当金	2,801	2,819
助成金収入	—	10,000
その他	7,630	8,502
営業外収益合計	10,536	21,414
営業外費用		
支払利息	12,544	10,913
売上割引	3,750	3,948
その他	1,801	1,146
営業外費用合計	18,096	16,007
経常利益	111,939	93,964
特別損失		
固定資産廃棄損	264	0
特別損失合計	264	0
税引前四半期純利益	111,675	93,964
法人税、住民税及び事業税	30,753	23,060
法人税等合計	30,753	23,060
四半期純利益	80,921	70,904

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,350,456	211,775	2,562,232	30,357	2,592,590	—	2,592,590
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,350,456	211,775	2,562,232	30,357	2,592,590	—	2,592,590
セグメント利益	201,525	41,166	242,691	23,087	265,778	△146,279	119,499

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに
帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益計 算書計上額 (注) 3
	チェーン 事業	金属射出 成形事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,247,096	212,484	2,459,581	24,508	2,484,090	—	2,484,090
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,247,096	212,484	2,459,581	24,508	2,484,090	—	2,484,090
セグメント利益	170,574	37,753	208,327	17,985	226,313	△137,756	88,557

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに
帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。